
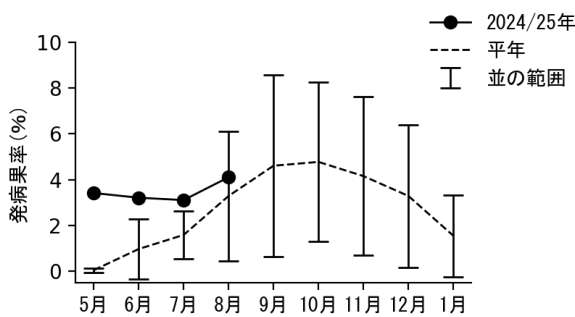


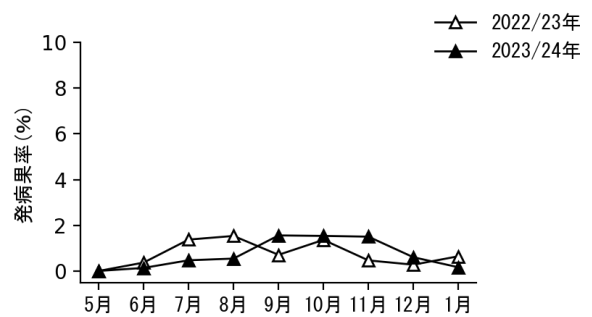
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	並	
予 報	8 月からの増減傾向	↗	
		9 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

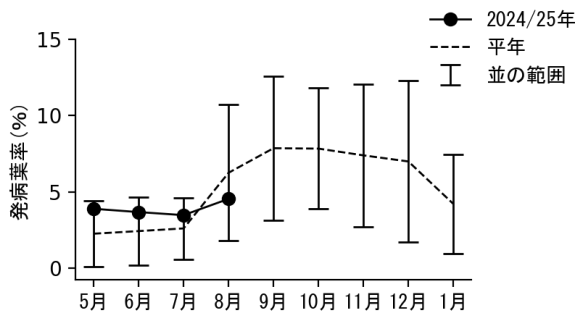
発病果率の推移 (今期と平年)



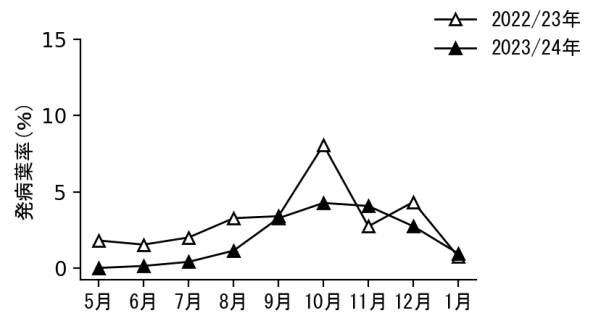
発病果率の推移 (過去 2 年)



発病葉率の推移 (今期と平年)



発病葉率の推移 (過去 2 年)




- ・ 果実の発病度0.8 (平年0.6)
- ・ 発生ほ場率100% (平年 : 72.9%)

防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努め、被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。
- ・ 罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口 (風傷) は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。

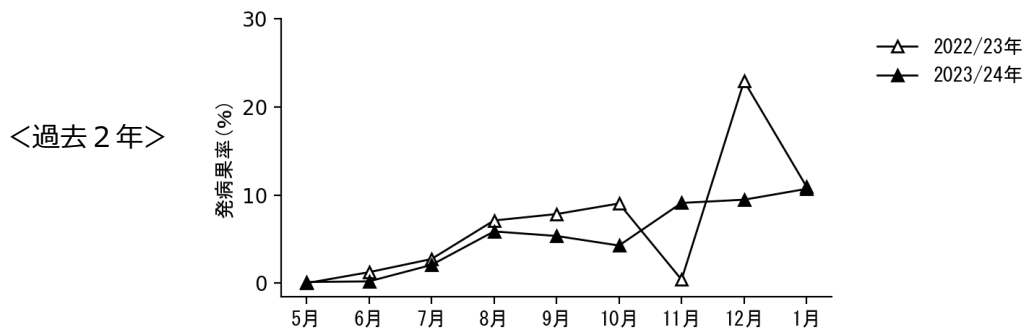
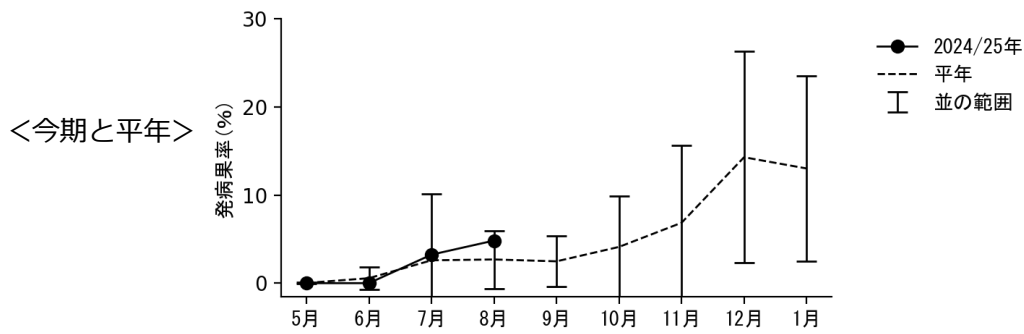
被害葉→



作物	かんきつ（タンカン）		地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病			
調査結果	8 月の発生量（平年比）	並		
予報	8 月からの増減傾向	→		
	9 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）		

調査結果

発病果率の推移



- ・ 果実の発病度1.0（平年0.7）
- ・ 発生ほ場率80.0%（平年：52.1%）

防除のポイント

- ・ 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報	8 月からの増減傾向	↘	
	9 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

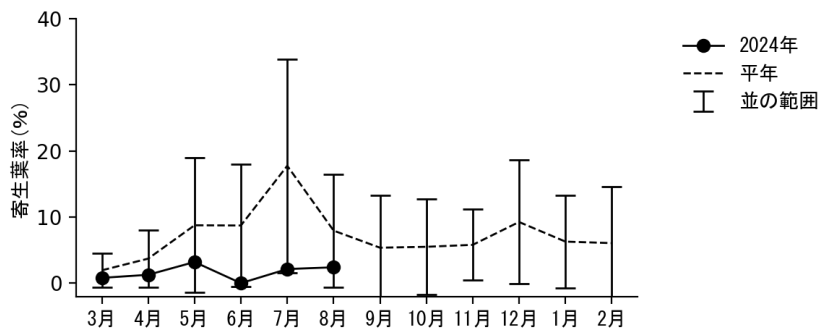


ミカンハダニ

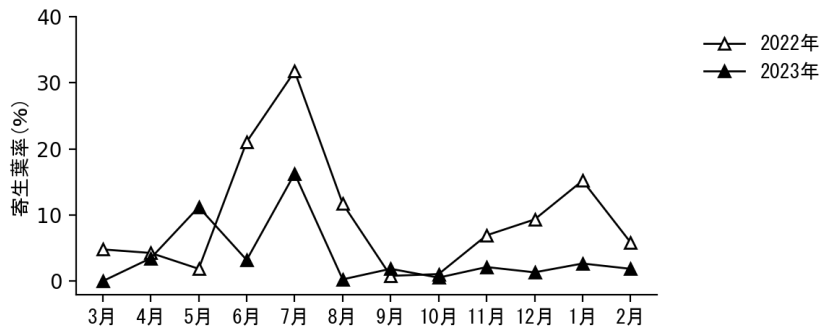
調査結果

寄生葉率の推移

<今期と平年>



<過去2年>



- ・発生種：ミカンハダニ
- ・発生ほ場率20.0% (平年：52.1%)

防除のポイント

- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状